

第99回関西学生陸上競技対校選手権

開催日：2022年5月25日（水）～28日（土）

場所：西京極陸上競技場

種目	名前	学年	記録	着順	備考
1500m	松井 あれさ	1年	予選敗退		予選3組14着 4分47秒51
	札幌 美桜	1年	予選敗退		予選2組11着 4分47秒61
	室山 優奈	1年	予選敗退		予選1組12着 4分51秒86
5000m	三輪 南菜子	2年	16分33秒57	6位	
	矢尾 桃子	4年	17分03秒09	15位	
3000mSC	増原 なつみ	2年	11分27秒29	6位	

【山本コメント】

本大会は、関西学生陸上競技アスリートにとっての最高峰の大会である。直近2年間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で秋に延期されて実施されたが、今年は例年どおりの時期に、無観客ではなく有観客で開催された。比較的良い天候に恵まれ、長距離種目としては気温が少し高めになったが、競技全体的には良い記録が多く達成されていた。

5000mでは、三輪が中盤以降、10名程度いた2位集団を積極的に引っ張ってレースを進め、6位入賞を果たした。また3000mSCでは、初レースとして臨んだ増原が健闘し、6位入賞を果たした。入賞は以上2名のみであり、チーム全体としてみるとまだまだ物足りないところだが、今回のレース経験をステップにして、今後の上位大会、秋の駅伝に向けて、全体として勢いをつけてほしい。

今大会は3年ぶりに例年どおりの時期に行われたインカレとして、対校選手権としてたいへん良い盛り上がりが見えた。こういった中でこそ、学生たちは様々な経験ができ、それが個人の成長、学生陸上界全体の発展につながる。過去2年間においては、学生たちは貴重な成長の場、感動の場がコロナ禍の中で奪われてきてしまった現実がある。それらは熟慮の上での妥当な判断だったと考えたいが、いま一度これまでのコロナ対応、現状のコロナ対応を見直し、無用な制限は撤廃し、学生たちにとっての貴重な場が過度に制限されてしまうことのないように皆で協力していただけることを願いたい。